

評価表

提案書記載項目			提案内容	配点	内訳	主な評価のポイント等	
No.	大項目	小項目					
1	提案者の概要	(1) 企業名(部署名)	副本は「□□□」等の記号を表記すること。	/	/		
		(2) 所在地	副本は「□□□」等の記号を表記すること。				
		(3) 電話番号、FAX番号、e-mailアドレス	副本は「□□□」等の記号を表記すること。				
		(4) 連絡担当者(氏名・役職)	副本は「□□□」等の記号を表記すること。				
		(5) 事業概要	本業務に関連する事業のみ記載すれば足りる。				
		(6) 業務実績	以下の業務に関する実績について、本業務に特に有用と思われる実績を5件以内で記載すること。 ●国または地方公共団体が発注した「地下壕の活用に向けた地質解析等調査業務(地質調査等を踏まえた地下壕の健全性評価及び課題抽出・対応策の整理を行った業務(以下、「地下壕の地質解析等調査業務」という。))」 ※業務名、発注者名、業務実施年度(契約年度及び完了年度)を記載すること。				本件は、佐世保市旧戸尾小学校の本格的な跡地活用にあたって、地下壕(戸尾市場)を存続させた場合の跡地活用の立案に必要な検討資料を作成することを目的とした業務である。そこで、本業務に有用な業務の実績を求める。
2	実施体制	(1) 担当者の配置計画	配置予定者について、以下の項目を記載すること。 ①所属・役職・経歴 ②本業務の担当分野 ※本業務の遂行にあたって、市担当者との協議の窓口を担う「主担当者」、総括的な「管理者」などの別を記載すること。 ※協力企業から担当者等の配置があればそれも記載すること。 ※担当分野とは、本業務にて必要と思われる具体的業務(地質調査、目視・聞き取り調査、健全性評価、対応策検討など)について、担当者を配置する場合はその担当業務を記載すること。	30	10	★本業務を遂行するための体制が十分か。また、遂行に必要な分野の職員の配置に漏れがないか。 ①本業務を遂行するにあたって、担当者、管理者等の役割が明確であるか、バランスのとれた所属や職責の担当者を配置しているかを評価する。 ②担当者の分野に漏れがないか、不足する分野を協力企業で補完できているかを評価する。 ※「3業務の実施方針・取組にあたっての考え方」、「4自由提案」における提案内容と整合が取れた実施体制を評価する。	
		(2) 担当者の手持ち業務	(1)で記載した担当者(協力企業を含む)の提案書提出時点での手持ち業務(契約済の業務に限る)を記載すること。 ●手持ち業務は以下の内容を記載すること ・担当者がどういった立場で当該業務に従事しているか(主担当者、副担当者、管理者など) ・業務の発注者(協議会等の場合は参画している地方公共団体名まで) ・業務期間(契約日及び完了日)			★本業務の遂行が懸念されるような状況ではないか。 ●(1)の実施体制と担当者の手持ち業務を総体的に評価する。 ※懸念がある場合のみヒアリングにて確認する。	
		(3) 担当者の実績	(1)で記載した担当者(協力企業を含む)について以下の実績を記載すること。 ①地下壕の地質解析等調査業務の実績(必須) ※地方公共団体が発注者の業務に限る。 ②その他本業務に有用と思われる実績(任意) ※発注者は地方公共団体に限らない。 ○実績は①、②それぞれ3業務以内とし、以下の内容がわかるものとする。また、発注者は地方公共団体に限らないものとする。 ・担当者がどういった立場で当該業務に従事したか(主担当者、副担当者、管理者など) ・業務の発注者(地方公共団体名など) ・業務期間(契約日及び完了日) ・業務内容(業務の目的やアウトプットがわかる内容を簡潔にまとめること。)			★本業務を遂行するために必要な知識やノウハウを十分に持ち合わせた職員が配置されているか。 ①地下壕の地質解析等調査業務の実績を有しているか。 ※具体的には、本業務と類似する業務実績をより高く評価する。 ②地下壕の地質解析等調査業務実績以外で本件に有用と思われる業務実績があれば評価する。 ※①、②ともに、「3業務の実施方針・取組にあたっての考え方」、「4自由提案」における提案内容と整合が取れた実績を評価する。	
3	業務の実施方針・取組にあたっての考え方	(1) 本業務の特徴に対する理解と調査・検討方針	本業務の特徴、課題等を正しく理解し、どのような点に留意して検討を進めるべきかと考えるか整理し、調査・検討の実施方針を提案すること。	50	30	★本事業の特徴や仕様書の内容に対する理解があるか。 ※本業務の特徴を踏まえた調査・検討のアプローチであるか、これまでの提案者の実績や経験を踏まえより具体的に分かりやすく提案されたものを評価する。 ※本業務の特徴…画一的な基準がない地下壕の安全性・健全性を本市独自に整理(見える化)し、地下壕の活用に向けた課題抽出と対応策の検討する点にある。また、技術的・学術的な調査・分析にとどまらず、関係法令や占有者・土地所有者の責任を考慮した調査・検討視点が求められる点に特徴がある。	
		(2) とりまとめ手法の工夫	客観的に正しく評価が可能である「健全性評価表(案)」を作成する上で、どのような点に留意・工夫するか、アウトプットのとりまとめに対する方針を提案すること。			10	★本事業の特性や仕様書の内容に対する理解があるか。 定性的・定量的にどのような評価指標を用いるか。本業務の特徴を踏まえた調査・検討のアプローチ、発注者や関係者にとって分かりやすいアウトプットのとりまとめ方針について、これまでの提案者の実績や経験を踏まえより具体的に分かりやすく提案されたものを評価する。
		(3) 工程計画	仕様書に基づく各種業務をどのような手順で進めていくべきかを示した工程計画を提案すること。			10	★本事業の特徴や仕様書の内容に対する理解があるか。 ※(1),(2)及び4自由提案の内容と整合が取れた工程計画となっているものを評価する
4	自由提案		「3 業務の実施方針・取組にあたっての考え方」における提案以外で、本業務の遂行において重要である視点及びその他の視点(社会情勢など)及びそれを踏まえた考察のアプローチ等を提案すること。 ※仕様書にない業務の実施を求める趣旨ではない。	10	10	★本事業の特徴や仕様書の内容に対する理解があるか。 ※本件の特徴や発注者の意向を十分に踏まえた検討の視点が提案されており、またそれを考察へ反映させる考え方になっているものを評価する。	
小計(提案書配点)				90	90		
5	プレゼンテーション評価	(1) 提案者の人物評価	・説明の説得力 ・取組みへの意欲・熱意 ・表現の分かりやすさ ・意思疎通能力の高さ ・質疑応答の的確さ など	10	10	★提案の核となる考え方等を明瞭かつ具体的に説明できているか。 <例> 補足説明が多くなり、説明の核となるべき部分が不明瞭である⇒低評価 ★審査委員の質問に対し、場合によってその意図を確認するなど、的確に意思疎通を図ることができるか。 <例> 質問の趣旨と異なる回答に終始してしまう⇒低評価	
小計(プレゼンテーション配点)				10	10		
提案評価配点 合計				100	100		